

そんなり通信 vol.62



地域活動支援センターMネット 広報誌 H26年10月号

実施主体：社会福祉法人Mネット東遠

場所：菊川市赤土 1660-1 TEL 0537-73-1020 FAX 0537-73-1034

9月サロン活動



9月22日（月）餃子作りを行いました。初めて餃子作りをした方も多く、餃子の皮が破れないようにあんを包むためにみなさん苦戦していましたが、おいしく出来上がりました。

9月9日（火）川根温泉の足湯に出掛けました。足湯の温度が42℃と高く、なかなか足を入れることができない方もいましたが、参加者からは「気持ちよかったよ」「足が温まった」といった声をきくことができました。



10月サロン予定

今月のサロンは以下の内容で行ないます。参加をご希望の方は、1週間までに地域活動支援センターMネット(Tel0537-73-1020)にお申し込み下さい。外出レクへの参加者は配車の都合上 15名までとさせていただきますので、希望者多数の際にはご希望に添えない場合がございます。

日にち： 10月6日（月）

内容： エコパ内ウォーキングコース散策

時間： 9：30 赤土出発、10：00 けやき出発、13：00 頃帰着予定。

持ち物： 昼食又は昼食代、飲み物、帽子、タオル

※予定していた果樹園散策は定休日のため、エコパに変更します。申し訳ありません。

日にち： 10月21日（火）

内容： とろろ汁作り

時間： 10：00 開始、12：30 頃終了予定。

場所： 地域活動支援センターMネット（赤土 1660-1）

持ち物： 材料費 200円

こころの健康づくり講演会

精神保健福祉ボランティアあしたばの会主催、静岡県精神保健福祉協会・M ネット東遠共催で9月20日に講演会を開催しました。

講師には菊川市社会福祉協議会の堀川直樹氏をお迎えして、『成年後見制度を理解するために』というテーマでご講演をいただき、当事者のご家族や民生委員、福祉施設や病院の職員など、43名の方が参加されました。

質疑応答では成年後見制度の申し立てに関する質問など具体的な内容が話し合われ、実りある講演会になりました。



コラム

精神科医療の風景：その3

当時の精神科の病室は、畳敷きの部屋がほとんどで12畳くらいの大部屋に6人程度が入っていた。部屋の壁側には作り付けの棚があって、そこに個人持ちのティシュペーパーやタオルなどを置いていた。また、押し入れも備わっていて、昼間は布団をたたんで押し入れに入れていた。部屋の中で、布団が敷いてある場合はそのスペースが患者さん1人の領地であることがはっきりわかるが、布団を畳んで押し入れに入れてしまうと自分のスペースがどこまでなのか分からなくなってしまふ。しかし、同室の患者さん同士で、スペースをめぐるトラブルは聞いたことがないと、ベテランの看護師は話してくれた。

棚の下には、スチール製の衣装缶と呼ばれる入れ物が置いてある。この衣装缶は、個人持ちなのだが、多くは着替えなどの衣類が入っている。中には、綺麗に畳んでしまっているものや、洗濯前の汚れた服と新しい服が無造作にゴチャゴチャになっているものなど様々であった。これ以外に夏物と冬物を区別して入れる衣類庫が病棟内にある。長い期間入院しているため季節の衣替えも必要であったのである。

汚れた洗濯は自分で行うか家族が取にくるか、どちらでもよいことになっていたが、汚れた洗濯物を取りに来る家族はほとんど見られないどころか、外出や外泊で自宅に帰ることもほとんどなかった。そういった意味では当時の精神科病院は、治療的色彩よりもむしろ生活的色彩が濃い場面が多くみられた。

